

# わんちゃんの糖尿病とは

わんちゃんもヒトと同様に膵臓から分泌されるインスリンによって血糖をコントロールしています。インスリンは血糖値を下げるだけでなく摂取したエネルギーを細胞で利用できる形に変換する作用があり、インスリンが枯渇すると細胞が飢餓状態になり全身的な状態悪化を引き起こします。

## 《原因》

遺伝的素因にプラスして以下の誘因で発症すると考えられています。

- (女の子で) 発情後の黄体期
- クッシング症候群(ステロイドホルモンが分泌されすぎる疾患)
- ステロイド剤の投与
- 肥満
- 膵炎

## 《症状・合併症》

- ◆ 多飲多尿(大量に水を飲み、薄いおしっこをたくさんします)
- ◆ 食欲が増加するが、痩せていく
- ◆ 感染への抵抗力低下(歯周病の悪化、膀胱炎、膵炎、皮膚病など)
- ◆ 肝臓障害
- ◆ 糖尿病性ケトアシドーシス(嘔吐、下痢などを起こし、昏睡状態になります)

## 《治療》

わんちゃんの糖尿病はヒトで言う1型糖尿病(IDDM)のタイプがほとんどで、自己インスリンが枯渇しているため、**インスリン注射が不可欠**です。毎日1日2回お家でインスリンを注射する必要があります。

血糖値は食事をすると上昇し、ゆっくり下降していきます。その振れ幅が正常範囲になるよう、インスリン注射でコントロールをしていきます。インスリン注射の量は個人差があり、適量を見つけるまではこまめに血糖値を測定する必要があります。

### ★週に1回は体重を確認しましょう！

血糖値がコントロールできていないとどんどん痩せてしまいます。維持または増加できるようであれば良好なコントロールが出来ている指標になります。

### ★食事は1日2回が基本です。食べたことを確認してからインスリンを投与しましょう。

※食べていないのにインスリンを打つと低血糖を起こす恐れがあります。

★糖尿病の療法食が選択されることが多いですが、必要エネルギーを摂取するためには**“確実に食べる”ことが大切**なため、療法食を食べてくれない場合は別のフードを選択する場合があります。

肩のあたりに注射するのが一般的です。



## 《低血糖発作に注意！》

インスリンの量が摂取エネルギー量より多い、食欲が無いのにインスリンを打つ、誤って2倍注射を打ってしまったなどの場合低血糖を起こすことがあります。

**元気が無い、ふらつく、けいれんを起こすなどの症状が見られます。**

すぐに食事を与えるか、ガムシロップを舐めさせるなどで直ちに血糖値を上げましょう。